

8 月 10 日 : VN 指数は反落 利益確定による売りで

VN 指数は二日続伸した後下落し、0.19%安の 1,256.5 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン証券取引所では、時価総額と流動性の高い上位 30 銘柄のうち 24 銘柄が値下がりし、優良銘柄が下落を主導した。値上がりしたのはわずか 6 銘柄だった。

最も VN 指数を押し下げた銘柄には、ペトロベトナムガス (GAS) -1%、ビンググループ (VIC) -0.8%、ホアファットグループ (HPG) -1.2%、ヴィエティンバンク (CTG) -1.2%が含まれた。

ベトドラゴン証券の Phuong Pham 氏は、「ベトナム市場は上昇し、高値圏での強い売り圧力に直面している。」と述べ、上昇トレンドが多く業種で利益確定の動きを引き起こし、指数が上昇の勢いを維持できず、わずかに苦戦を強いられていると指摘した。

VN 指数は今月 4.3%上昇した。

12 業種が下落する一方で 13 業種が上昇するなど、業種によってばらつきが見られた。

鉱業・石油業、金融業、宿泊業は大幅に上昇する一方、コンサルティング業、水産加工業、建設資材やプラスチック関連の業種は大きく下落した。

鉱業・石油業では、ビンディン鉱産 (BMC)、ペトロベトナムドリリング (PVD)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) がそれぞれ 3%~7%上昇した。

水産加工業においては、上場している 8 銘柄のうち 6 銘柄が大きく下げた。

主な値下がり銘柄では、ナムベト水産 (ANV) が -1.8% と弱い値動き。クーロンフィッシュ (ACL)、ビンホアン水産 (VHC)、国際投資開発 (IHI)、サオタフード (FMC) はそれぞれ 1%未満の下落にとどまった。

「上値抵抗線 1,260~1,283 ポイント直前での反落により、指数が下値抵抗線まで下がるような慎重な動きがみられるが、さらなる売りの増加が押し目買いを誘うことで、市場を下支えする要因となる。」 (同氏)

ホーチミン市場の出来高は前日と比べて減少し、売買高は 6 億 5,200 万株、売買代金は 14 兆 4,000 億ドンとなった。

対照的に HNX 指数は引き続き上昇し、0.71% 高の 303.54 ポイントで引けた。今週 3 日間の上昇で +1.2% となっている。流動性もわずかに増加し、2 兆ドン相当の 1 億 200 万株が取り引きされた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。